



9月の平日夜間・休日診療のご案内



●平日夜間診療・休日診療のお問合せは、下記へお尋ねください。

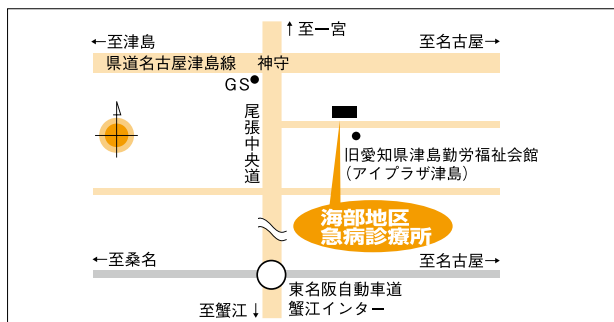
海部南部消防署 ☎52-0119

救急医療情報センター ☎26-1133

海部地区急病診療所 ☎25-5210

海部地区急病診療所 津島市義原町字郷西37

診療科目	診療日	受付時間
内科 小児科	土曜	午後6時～8時30分
	日曜 祝日・休日	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分 午後6時～8時30分
	上記以外の月曜～金曜	午後8時30分～11時
歯科	日曜 祝日・休日	午前9時～11時30分 午後2時～4時30分
ホームページ http://amaq.sakura.ne.jp		



病状等のお問合せは、受付時間内に直接お電話してください。

くすり安心電話

- 内 容 くすり、医療用品等に関する緊急の相談、質問、問合せ
- 電話番号 090-2136-3858
- 対応時間 午後9時～深夜0時

休日の診療は以下のとおりです。

〈外科〉は、海部郡・津島市・愛西市・弥富市・あま市内の在宅当番医による輪番制で行っています。

〈内科〉は、海部地区急病診療所で行っています。

週末の担当病院です

休日診療〈外科〉 午後5時以降は消防署へお尋ねください。専門外の患者さんは、お断りする場合があります。

◆診療時間	日曜・祝日	午前9時～午後5時
1(日)	奥村クリニック	22-2600 津島市
8(日)	小西整形外科	052-875-7178 あま市
15(日)	脳神経外科のぞみクリニック	052-443-5533 あま市
16(月・祝)	つつみ整形外科クリニック	97-0223 蟹江町
22(日)	後藤整形外科	25-5511 津島市
23(月・祝)	駅前ふじたクリニック	052-462-0222 あま市
29(日)	鈴木整形外科	28-8838 愛西市

とびしまほっと安心ダイヤル～健康、医療、子育て等～
☎0120-501-970

無線放送内容を確認できる音声自動応答サービスについて

同報無線で放送した内容は、次の番号へお電話いただくことで確認できます。聞き逃したとき、聞き取りにくかったときなどにご活用ください。

☎52-1451

※通話料金が掛かります。
※混み合っている場合には通話中となることがあります。

災害用伝言ダイヤル171を知っておきましょう

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音

171

録音の場合は

1

(X X X) (X X X) - (X X X) (X X X)

録音

(30秒以内)

伝言の再生

171

再生の場合は

2

(X X X) (X X X) - (X X X) (X X X)

再生

ガイダンスが流れます。

ガイダンスが流れます。

※被災地の方も、被災地以外の方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

ガイダンスが流れます。

みなさんもうすでにご承知の通り、日本の風土と災害は、切っても切り離せない関係にあります。今日の日本では、災害に対する防衛策として、お住まいの耐震補強や避難場所の確保、自分や家族を守るための防災グッズの準備など、日頃から考え準備しておくべき項目が山積みであります。今回は、数ある項目の中から防災グッズについて考えていきたいと思います。

さて、一口に防災グッズと言っても、その地域や環境によって準備するものはさまざまで、どんなものをどれだけ用意しておけばいいのか迷ってしまうことと思います。ついつい既存の防災グッズを購入して一度も中身をチェックしていない、なんて方も少なからずいるのではないのでしょうか。

こんな時、歯科の観点からアドバイスさせていただくなら、口腔ケア用品については、既にセットになっているものではなく、みなさんが日頃から使用している使い勝手のよいものに交換していただく事が望ましいと考えています。

例えば、親知らず周りを磨くための小ぶりなヘッドのブラシ、義歯を使用している方の義歯ブラシ、食物残渣によって歯肉に炎症が起きやすい方には歯間ブラシやデンタルフロス、というように個々の口腔環境により使用するケア用品はさまざまで、既存のセットでは満足な口腔ケアが出来ないのがほとんどではないでしょうか。

もし被災してしまった後、不慣れた生活環境と不十分な口腔ケアでは、さまざまな病的症状を回避することは難しくなるでしょう。

口腔環境はまさに十人十色であり、使用する口腔ケア用品の形やサイズなど自分に合ったものに事前に交換しておくことが大切で、口腔環境の変化に対応するため定期的な防災グッズのチェックをするのも忘れてはならないでしょう。

歯科に限らず、日々刻々と変化していく体の状況なども考え、今一度ご家庭の防災グッズを見直し、もし被災してしまった場合でも、ご自身やご家族の健康を維持していけるような個々に合った準備を日頃から考えておくことが重要なのです。

(海部歯科医師会)

歯科から考える防災グッズ

歯の健康講座
その445